

富岡町つつじ再生プロジェクト

(福島県富岡町)

～NPO法人元気になろう福島～

・富岡町心の復興事業計画書

取組の目的・概要、効果・特徴

取組全体の目的・概要:

東日本大震災以前のJR夜ノ森駅構内は、地域住民によって植栽・管理されてきた「つつじ」約6,000株により、JRを利用される方々を楽しませるなど「町の花」として親しまれ地域住民の誇りであり生きがいにもなっていた。やむを得ず除染により愛着や誇りまでも大きく低下してしまった。町内に残るつつじの苗木を「つつじの里親」の手で生育し、再び植樹することで、失われた誇りを取り戻すと共に里親同士のコミュニティ再生のため実施する。

取組の効果・特徴:

【生きがいとしての効果】

- 1.里親としてのつつじ育成 日常的につつじの生育に取り組むことで、植物に触れることでの癒し、つつじの成長を実感することで得られる喜び。
- 2.里親同士のコミュニティづくり 志を共にする里親同士が個々の経験などの共有が期待され、自ずとコミュニティが生まれる。
- 3.住民主体の団体による活動継続にむけて 令和7年度はプロジェクトの4年目を迎え、着実なものへ定着させる新たなステージを迎えている。

取組内容

【富岡町つつじ再生プロジェクト】

●ワークショップ

第1回 9月上旬頃 つつじ剪定&挿し木づくりワークショップ

●6月上旬 フリーマーケット & つつじ即売会

●小中学校との連携によるつつじ再生事業2回

●夜ノ森駅 東口花壇「つつじ」の管理育生計画

2025年3月に植樹したつつじの管理体制と仕組みづくりを、大桑原つつじ園様のご指導で構築します。

●情報発信

つつじ通信発行全3回(7月・11月・2月頃想定)

富岡町広報に同封して全戸配布のほか町内関係各所へ配布
公式Facebookページ運用



令和7年度「心の復興」事業

次年度以降の展開

- ・地域住民が主体的かつ継続的につつじ再生に取り組むことのできる環境・コミュニティの形成(地域サークルや生涯学習プログラムなど)
- ・つつじを活用した地域活性やコミュニティづくりの展開(観光や商品開発など地域企業との連携)
- ・継続した富岡町の情報発信